

セオの健康告知板和人参

おかげさまで
創業60周年
セオ薬局お客様
健康勉強会その⑧

寒風吹く平成二十五年十一月二十一日（木）、今年第七回目の「お客様健康勉強会」がいつもの店五階で開催され、十三名のご参加をいただきました。

『冬の心臓、脳血流には牛黄』と題し、日本製薬株式会社の竹内篤実先生のお話です。



「冬の心臓、脳血流には牛黄」
講師：日本製薬株式会社
竹内 篤実 先生

平成 25 年 11 月 21 日 アリマビル 5 階

冬の心臓、脳血流には牛黄

牛黄ってなに？

牛黄とは、牛の胆のうや胆管に出来た結石（胆石）の事で、ビリルビン系色素、胆汁酸のコリン酸・デオキシコリン・タウリン抱合体を含みます。発見出来るのは、千頭に二頭位の割合で、大変希少価値の高い高貴薬です。オーストラリア産が極上とされます。「牛黄」は中国では二千年以上も前から健康促進・病氣回復・長寿の薬として重宝されて来ました。

中国で最も古い薬物書『神農本草経』にも、「不老長寿の薬」と記されているほど、効能豊かなものです。

牛黄の働き

十二世紀中国（宋）の古医書『太平惠民和劑局方』には、

「牛黄」の働きについて、「清熱解毒」「安心開竅」が主であると記されています。

※熱を冷まし毒を消し心を静め穴を開くの意。

牛黄の主な働き

- ・強心作用…心臓の働きを高め、動悸、めまい、むくみを軽減する。
- ・降圧作用…血行を改善し、高い血圧を下げる。
- ・肝臓保護作用…肝機能を助け、胆汁分泌を促進する。
- ・抗炎症作用…炎症を抑える。
- ・解熱作用…熱を冷ます。
- ・鎮静作用…気（神経）を和らげる。
- ・鎮痙作用…痙れんを鎮める。
- ・解毒作用…体内毒素を速やかに解毒、排泄する作用。

「牛黄」は九穴（目、耳、鼻、口、尿道、肛門）を開き、気の流れ、血の流れを良くし、水分代謝を高めて、様々な症状に効果を発揮します。

生命を守る金の玉『牛黄清心元』

牛黄清心元は十二世紀中国（宋）の医学書「太平惠民和劑局方」に収載され

た“牛黄清心元”と、十七世紀朝鮮の

（こうせいしんえん
とういほうかん）

医書「東医宝鑑」に収載された“牛黄清心元”を起源とする歴史ある生薬製剤です。

牛黄清心元は、牛黄を中心に二十五種類の生薬を粉末にして、蜂蜜で練りあげ丸薬とし、金箔で包んだ（金の玉・）、薫り高い、循環器系治療薬です。（丸薬を分割して服用）

この中には、希少動物生薬として「牛

黄”をはじめ、※じゃこう「麝香」や「羚羊角」れいようかく

（羚羊の角）も配合されています。

※「麝香」：ジャコウ鹿雄の香囊分泌物。

ムスク。中枢神経を興奮させ、発散作用や、弱った機能の強化作用、気付け作用等、危急を要する時にも用いる。香りは香水の原料にもなる

韓国では高血圧、脳卒中、心臓病、肝臓病、精神不安、痙れん性疾患、神経痛等々、様々な症状に応用され、家庭の常備薬として、重宝されています。
牛黄清心元は、まさに“命を守る金の玉”なのです。



寒い冬も、牛黄で乗り切る！

冷たい風が吹き、朝晩の気温差、屋内外の温度差が大きい冬は、心臓・循環器に負担がかかる季節です。急な血圧上昇などで、心筋梗塞・脳梗塞等、突然死のリスクがぐんと高くなります。風邪の予防薬として、又、集中して実力を発揮したい、受験生のお守りとしても、牛黄清心元は、冬の季節の必需品といえます。

《あとがき》

講師の竹内先生は、常時二個、牛黄清心元を携帯されているそうです。一丸は自分の為に、もう一丸は他の方を助ける為に、とのことでした。（ニコニコ運動）

勉強会のテキストは、カラフルで解りやすく、桜島の写真を載せるなど、鹿児島色に編集されていました。お嬢様がパソコンで作成下さったとのこと。竹内先生父娘に“感謝”です。

生命を守る金の玉 “牛黄清心元”で、

寒さ厳しいこの冬も、元気に乗り切りましょう。



死にそうな疲れには
牛黄がイチバン！！